

9月13日

テーマ：「なぜ疑うのか」

聖書箇所：マタイの福音書14章22節～33節

◆今日のみことば

そこで、イエスはすぐに手を伸ばして、彼をつかんで言われた。「信仰の薄い人だな。なぜ疑うのか。」
マタイの福音書14章31節

◆メッセージ

みなさんはイエスさまのことをどのくらい知って信じているでしょうか？

弟子たちは、イエスさまが病気を治し、死人を生き返らせ、嵐を静める姿をこの目で見て、神さまの権威（ちから）をもった神の子だと知っていました。

しかし、湖で嵐にあったとき、水の上を歩くイエスさまを見て「幽霊だ！」と騒ぎ恐れたのです。2年以上も一緒に過ごしてきたイエスさまだとわかりませんでした。

弟子たちはこのとき、イエスさまがこの全地を治める王さまの中の王さまであり、世界を造られた神さまであることを忘れていたのかもしれない。神さまであれば湖の上を歩くことだってできるのです。

このときペテロが言いました。「主よ。もし、あなたでしたら、私に、水の上を歩いてここまで来いとお命じになってください。」するとイエスさまはペテロに「来なさい」と言いました。

するとペテロは、舟から出て水の上を歩くことができたのです。

ところが、あまりにも風が吹いていたので、ペテロはイエスさまから目を離し、周りの状況を見たたん、怖くなり沈みかけました。ペテロは叫びました。「主よ、助けてください」



するとイエスさまはすぐに手をつかんで言われました。「信仰を薄い人だな。なぜ疑うのか。」

ただ素直にイエスさまを見つめて、そのおことばに従ったとき、ペテロは水の上を歩くことができました。

「信仰が薄い」とは「信仰が足りない」とか「信仰が完全ではない」という意味です。全地全能なるイエスさまを信じ、より頼み、イエスさまから目を離さないでいくとき、私たちは他の何かを恐れることはありません。

◆お祈り

神さま。あなたは何でもできるお方です。もし周りの状況が大変であったとしても、あなたを信じ続けられることができますように。

(五十嵐キリスト教会伝道師 山岸啓水)